

たいし 議会 だより

185号



令和5年 6月定例会

◆定例会概要

p1~p4

◆6議員が町政を問う(一般質問)

p4~p7

◆議会のうごき

p7~p8

リニューアルされた道の駅「近つ飛鳥の里・太子」

発行/太子町議会 編集/議会広報特別委員会

第2回定例会は、6月1日に招集され、23日までの23日間にわたって開かれました。今定例会では、補正予算、条例改正などについて審議されました。また、一般質問には、6人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
5年度一般会計（第2号）	1769万4千円	61億3247万6千円
5年度一般会計（第3号）	1億3013万4千円	62億6261万円
5年度一般会計（第4号）	400万4千円	62億6661万4千円

【一般会計（第3号） 新型コロナウイルス感染症対策事業分】

◆町内交通事業者（金剛バス）へ燃料価格高騰対策。令和4年度分の運行距離に対する支援金を支給（98万3千円）



◆高校生の学習応援。商品券を支給（1364万9千円）

◆物価高騰対策。低所得世帯及び事業所への支援

- ①低所得世帯（令和5年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯）支援金支給（4200万円）
- ②介護保険・障がい者施設支援金支給（348万円）

◆物価高騰対策。子育て世帯等への支援

- ①子ども食堂への補助（150万円）
 - ②保育園・幼稚園の主食費補助（255万9千円）
- ◆町内事業者への事業系ゴミシール購入代分（令和4年度分）支援（212万9千円）

◆原油価格高騰による農業経営者負担軽減のため、経営規模に応じた助成（499万円）

●一般会計（第2号）

質疑

【専決処分 理由】マイナンバーカードの取得促進事業及び子育て世帯生活支援特別給付金給付事業として、早急な対応が必要な経費について一般会計補正予算（第2号）を編成し、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、4月26日に専決処分を行った。



マイナンバーカード（見本）

【一般会計（第3号） 通常分】

地区・町会等運営事業250万円／産官学連携プロジェクト事業1672万3千円／軽自動車税課税事業（ミャクミャクナンバープレート作製料）40万8千円／妊娠出産包括支援事業93万6千円／学校運営事業【感染症対策】360万円／文化財保護維持管理事業（田中家住宅調査委託料）58万5千円 等

●一般会計（第3号）

質疑

問 高校生等学習応援事業商品券代の内容、及び配送方法は。

答 平成17年4月2日から平成20年4月1日に生まれた方に対し、1人当たり3万円相当の全国で使用可能な商品券を、申請不要なプッシュ型で書留により送付を行う。

問 田中家住宅調査委託料の調査内容は。

答 後世に残す記録保存として、今回の調査内容は建物の実測と図面作成を行う。調査自体は令和2年度から古文書などを含めた総合調査を実施している。

建物の老朽化が激しく、修繕には莫大な費用がかかることから、所有者の意向により、秋にも取り

壊すことを確認したため、田中家住宅の建築物実測等調査経費を増額補正する。



太子町立竹内街道歴史資料館令和4年度企画展図録

問 学校の新型コロナウイルス感染症対策の備品とは。

●一般会計（第4号）

【内容】6月2日から3日にかけて発生した台風2号及び台風に伴う大雨の影響による、農林及び公共土木施設の被害箇所に係る応急復旧に要する経費の予算措置を行うもの。全額、財政調整基金繰入金で、財源措置を行う。

質疑

問 南今池の災害復旧対応の内容は。

答 国の災害復旧事業なので、原

答 国の『感染症流行下における学校教育活動体制整備事業』を活用し、各町立小中学校で必要となるペーパータオル、消毒液、使い捨て手袋などの消耗品のほか、換気対策として網戸、サーキュレーター、空気清浄機などを購入予定。

問 保育園の主食費及び副食費の料金設定は。

答 町内の保育園・認定こども園では、主食費を1号認定は1,000円、2号認定は1,500円で設定さ

れており、副食費は今年度から引き上げ、1号認定は3,700円、2号認定は4,700円に設定されている。

問 保育園の副食費の補助は太子町独自施策なのか。

答 国基準では、年収360万円未満相当の世帯及び全世帯の第3子以降の方の副食費を免除しているが、町の独自施策として国の免除基準を拡大して全世帯を対象としている。

保育園・認定こども園に対する給食費補助実施
町内の保育園・認定こども園では、9月から給食費無償に！

	主食費補助（コロナ対策費）	副食費補助（国基準）
1号認定	1,000円	3,700円
2号認定	1,500円	4,700円

※主食費補助は、令和5年9月から令和6年3月分に限りです。

状復旧が原則。原状復旧以上の対応は、国の災害査定の中で認められない可能性がある。原因を解消し、今後、同様の被災状況がおきないように水路を崩壊しない程度まで伸ばしたいと考えている。

問 南今池の災害復旧に地元負担があるのか。

答 太子町土地改良事業及び農業関係事業分担金要綱に基づいて復旧する。国の補助事業の場合、事業費の25%を上限とする。

問 危険箇所の点検・改修を実施する考えがあるのか。

答 農業用ため池の場合、毎年点検を義務付けられている池や5年に1度点検を実施している池がある。公共土木に関しては、日常の雨でも水が家に入ってくるというような苦情・要望があり、そのような箇所に関しては予算の許す限り改修していく。

台風2号に伴う梅雨前線豪雨による災害箇所を一日も早く復旧へ追加の補正予算（第4号）で即対応！

【農林施設災害】

- ・葉室地区水路敷倒木撤去
- ・二上山登山道整地
- ・大日池東側水路土砂撤去
- ・町道南今池線東側水路修繕
- ・南今池水路災害復旧測量設計委託

【公共土木施設災害】

- ・町道南今池線舗装復旧
- ・町道御陵道線う回整備
- ・災害復旧測量設計委託
- ・太井川河床保護工復旧
- ・葉室地区里道石積等復旧



南今池水路崩壊



町道御陵道線路肩崩壊



町道南今池線路面損傷

条例改正

●印鑑条例中改正の件

【内容】スマートフォンを利用して全国のコンビニエンスストア等で印鑑登録証明書の交付を受けられるよう改めるもの。

質 疑

問 マイナンバーカード利用で、住民の利便性は向上しているのか。

答 コンビニで証明書が取得出来るようになったことで、窓口よりも利用可能な時間が長いため、利便性は向上している。

問 印鑑証明書の発行件数は。

答 昨年の窓口発行は月平均190枚ほど発行。コンビニでの発行は、2月から5月までで、月平均40枚から50枚ほど発行されている。

問 職員の職務は効率化されたのか。

答 コンビニ交付を利用されていることにより、窓口に出る回数は若干減少している。



マイナンバー窓口

●税条例中改正の件

【専決 理由】地方税法等の一部を改正する法律、及び地方税法施行令等の一部を改正する政令等が令和5年3月31日に公布され、原則として4月1日より施行されることに伴い、本町税条例の一部について、専決による改正を行った。

【内容】○固定資産税…長寿命化に資する大規模修繕工事が行われたマンションに係る税額の減措置を創設／○軽自動車税…種別割グリーン化特例（軽課）の延長
【施行期日】令和5年4月1日

●税条例中改正の件

【内容】

○森林環境税（国税）…森林環境税の課税環境の整備

【施行期日】令和6年1月1日

○軽自動車税…特定小型原動機付自転車の車両区分創設（電動キックボード等の特定小型原動機付自転車の車両区分創設に伴う軽自動車税種別割税率の整理

【施行期日】令和5年7月1日

現状		
	町民税	府民税
標準税率	3,000円	1,000円
臨時特例課税 (H26～R5年度まで)	500円	500円
森林課税 (府税) (H28～R5年度まで)	-	300円
合計	5,300円	

質 疑

問 森林環境税変更で、住民負担は増えるのか。

答 町民税で3,500円、府民税で1,800円、合計5,300円賦課されている。うち令和5年度まで賦課されていた府の森林環境税など1,300円が、令和6年度から無くなる代わりに国税の森林環境税が新たに千円賦課される。令和6年度からの町民税・府民税合わせた金額は5,000円となり、差し引き300円の負担減になる。

R6年度から		
	町民税	府民税
標準税率	3,000円	1,000円
森林課税 (国税)		1,000円
合計	5,000円	

事 件

●府営土地改良事業（広域営農団地農道整備事業岩湧地区）計画の変更に係る同意

【内容】広域農道は、富田林市、河内長野市、羽曳野市、太子町、河南町、千早赤阪村の6市町村から構成する広域営農団地で生産されている農産物輸送の効率化等を促進するための農道である。

現在の事業区間において、事業費の変更、工期の変更の必要が生じたので関係市町村として同意するにあたり、議会に議決を求めるもの。

質 疑

問 フルーツロードへの名称変更があるのか。

答 河内長野市域では、現在フルーツロードの指定はされておらず、名称変更は岩湧地区の完成をもって、河内長野市の判断も含め、大阪府と協議していくものと聞いている。



任 命 同 意

●農業委員会委員の任命について

○農業委員会 委員

松本 裕氏 氏（中大道）

三浦 宏純 氏（大道）

金谷 和美 氏（永田町）

仲村 公良 氏（平和町）

山本 豊 氏（上ノ町）

川端 英夫 氏（葉室）

上野 岩夫 氏（伽山）

初山 友紀 氏（寿町）

植木喜久子 氏（向少路）

上田 恭敏 氏（伽山）

谷内 啓雄 氏（西）

中尾 貞子 氏（畑）

山元 和美 氏（東條）

楠本 肇 氏

（富田林商工会太子町支部）

○農業委員会 農地利用最適化推進委員

小路 公之 氏（山田・畑地区）

川村 明夫 氏（春日地区）

山村 一彦 氏（太子・葉室地区）

【任期】令和5年7月20日から令和8年7月19日まで

※（ ）内は町会名・地区名など

第2回定例会 審議結果一覧表

件 名	審議結果	斧田 秀明	建石 良明	西田 いく子	藤井 千代美	森田 忠彦	村井 浩二	辻本 ひろゆき	辻本 馨	中村 直幸	山田 強
税条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計補正予算（第2号）の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
府営土地改良事業（広域営農団地農道整備事業岩湧地区）計画の変更に係る同意について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
印鑑条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
農業委員会委員の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 —議長 ※可否同数の場合は、議長採決

地域防災について



しなが会 斧田 秀明 議員

問 コロナ禍での地域防災の取り組みは。

答 コロナ禍により太子町総合防災訓練をはじめ、町会・自治会や自主防災組織等の訓練など、多くの人々が参加する訓練が中止された。人が集まることができない中、町職員の防災意識の向上と災害発生時の行動確認を行うため、非常参集訓練を行い、また、コロナウイルス感染症対策の避難所運営として、避難所における間仕切りテントの配置訓練も行った。住民への防災意識向上の啓発としてハザードマップをリニューアルし、令和4年3月に全戸配布した。太子町公式LINEにおいては、気象情報やハザードマップ等を見ることが出来る防災専用ページを作成し、警報等が出たときの行動を予め決めておくマイタイムラインが設定できる等の取り組みを実施した。

問 自助に対する行政としてのサポート事例や消防団の地域防災活動の取り組みは。

答 自助のサポート事例としては、ハザードマップによる災害に対する備えの情報提供や町公式LINEによるマイタイムラインの作成支援、広報紙や防災行政無線による周知、国等と連携したJアラート訓練、太子TVでの防災情報の紹介などを行っている。また、小学校の防災の授業に職員が出向き、防災への備えなどについて説明を行う事で、子どもたちが自助の大切さについて理解を深め、子どもから保護者へと伝わり広がるよう取り組んでいる。自助は、災害時において最も基本的で重要であり、今後も啓発やサポートを継続的に行っていく。消防団の地域防災活動の取り組みとして今年2月下旬から3月上旬までの3週間にわたる毎週日曜日には消防団などの主催により、地域の防災意識向上を目的とした防災訓練を行った。



2月19日開催防災訓練風景



道の駅「近つ飛鳥の里・太子」について

大阪維新の会
建石 良明 議員

問 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営状況について。

答 昨年4月に、町観光・まちづくり協会が運営事業者となり、リニューアルオープンされた。町産農産物の直売をはじめ、ブドウやミカンの時期にイベントを開催するなどの取り組みを行っている。太子ワイン、太子最中、太子みかんソース等の販売や、みかん果汁ドレッシング、フィナンシェ、ジェラート等の加工品の新商品の開発に取り組むとともに、土日の休日限定でキッチンカーを誘致するなど、新事業を展開している。

こうした取り組みにより、減少傾向となっていた売上げについては、令和4年度は、7千800万円で、前年度に比べ約1.4倍の増加。来客数も延べ6万5千人とコロナ禍前を上回っている。出荷者数も5月末現在で89名と、約1.8倍に増加するなど、道の駅の運営状況は大幅に向上している。

問 道の駅の活性化について。

答 平成9年9月に府と町が共同で道の駅を開設したが、25年が経過し、トイレをはじめ設備の老朽化が進んでいることやイベント時の駐車や休憩スペースが少ないことなど課題がある。令和4年11月に府と町で道の駅の活性化に向けた勉強会を立ち上げ、先進事例調査や、道の駅の強み・弱みの分析とともに、フルーツを活かした食の提供、サイクルツーリズムとの連携など、機能強化の方向性について議論している。

令和5年度から、検討会に改め、町の観光まちづくりを支える拠点とともに、農や自転車などを活かした南河内地域の広域的な拠点を目指し、利用者ニーズの調査や整備手法の検討等を踏まえ、具体的な機能強化策について議論を進めている。

町としても、道の駅の来訪者増加に向け引き続き取り組むとともに、南河内フルーツロードの「北の玄関口」を目指して、地域の活性化や利便性向上につながるよう検討を深めていく。



運営状況が向上
賑わう道の駅



地域の音楽鑑賞のあり方について

公明クラブ
辻本 ひろゆき 議員

・音楽を通して地域の活性化を

問 ソーシャルディスタンスの緩和などにより、コロナ前に行われていたイベントや地域交流が少しずつ開催されている。今回は、音楽の必要性について質問する。

音楽は男女・年齢問わず、すべての人が平等に楽しむことができる素晴らしいもの。

今後、町独自で音楽鑑賞会の実施などの検討は。

答 本町における音楽にふれあう機会として、聖燈会、ふれあいT A I S H Iにおけるステージイベント、文化祭の演芸部門があり、最近では、アコースティックライブを継続的に開催していただく動きも出てきている。十数年前には、大阪芸術大学ウインドアンサンブル「綾」と町の共催による音楽会が、開催されていた。

コロナの影響を受けた3年間は、音楽にふれあう機会が少なくなっていたが、昨年度からは、日常を取り戻す

べく動いている途上である。

今後も、多くの住民の皆さんに様々な場で音楽にふれあう機会を創出・提供できるよう、大阪芸術大学をはじめ、音楽活動をされている個人・団体との関係を深める中で、取り組みを進めてまいりたい。

・小中学校での音楽鑑賞について

問 子どもにとって音楽は、聴覚やリズム感など音楽的な才能を伸ばすほか、ストレス解消になる協調性を育てるなどの良い影響がある。

町内の学校での開催も視野に入れ、音楽に親しむ機会を町が率先して推進しては。

答 芸術を主体とした学習活動も、コロナの影響により規模縮小をしていたが、これからは、子どもたちの音楽を通じた成長や芸術的な感性を養ってまいりたい。

子どもたちが生の音楽に触れ、音楽の持つ力やすばらしさを感じる機会はとても大切だと認識している。地域にある大学との様々な交流を活用し、教育活動を充実させるべく、取り組みを進めていく。



音楽鑑賞会



防災士について

自由民主党
辻本 馨 議員

問 ①地震、台風、大雨、火災、とかく日本は災害の多い国。混沌とした世の中にあって災害発生時に自助共助協働を原則とし、一定の知識と技能を習得した人が社会の様々な場で防災力を生かした活動をしている。本町での今までの防災士に対する取り組みは。②町在住の方が、防災士になりたいと考えた時、補助金等の対策を講じる考えは。

答 ①課長補佐級に昇格した際の必須資格と位置付け、平成25年度～令和3年度まで、26名が資格を取得し、現在は24名(2名退職)。現在は職員の新たな資格取得は行っていないが今後必要に応じて検討する。②独自の防災士資格取得に限った補助金制度はないが、自主防災組織の中心となる方を対象に府内市町村防災対策協議会が開催する「自主防災組織リーダー育成研修」に町会・自治会、自主防災組織に参加の呼び掛けをしている。

個人情報の閲覧

問 現在の我が国の国防を担っているのは、陸海空自衛隊である。現在は志願制になっており優秀な人材を確保しなければならない。入隊適齢期を迎えた本町の壮丁及び女子へのリクルートがどこまで可能なのか。

答 自衛官等募集事務については、「自衛隊法」97条第1項に基づく市町村の法定受託事務と定められており、これに係る経費については、国庫支出金により負担されている。本町においても庁舎における自衛官募集広報ポスター等の設置や、広報紙への掲載、役場正面の懸垂幕の設置などを行っている。自衛官、自衛官候補生の募集に関し必要となる個人情報の提供だが「自衛隊法施行令」第120条には、「防衛大臣は、自衛官又は自衛官候補生の募集に関し必要があると認めるときは、都道府県知事又は市町村に対し、必要な報告又は資料の提出を求めることができる。」とされている。今後も個人情報の観点から法令を遵守し、業務を遂行していく。



自衛官募集
(防衛省HPより抜粋)



すべての人が投票できるように

日本共産党
藤井 千代美 議員

問 日本全国で投票率が低下している。18歳から投票ができるようになったが投票率は上がらない。千早赤阪村では、期日前投票を促すため、移動投票所を開設し、投票率アップへの努力をしている。町も葉室と畑で投票所を設けたり努力をしているが、さらなる投票率向上のための対策を求め。

答 「若者の選挙離れ」の主な要因として「政治への関心の低下」があげられており、本町でも同様の傾向にある。

選挙の投票率向上と選挙啓発を目的に、広報やホームページの活用や、太子町観光・まちづくり協会の協力のもと、本町のPR大使である「前田大然選手」とマスコット



キャラクターの「たいしくん」がコラボしたデザインの投票済証を作製し、投票された方々へお取りいただいている。今後、投票率向上のための啓発や環境整備については、本町選挙管理委員会の決定事項であるため、本町選挙管理委員会において選挙人の動向を見据えながら議論がなされるものと考えている。

要望 施設に入っている人の中には、コロナ禍ということもあって投票できない人もいた。施設に投票所を設けるよう指導することはできないのか。公営掲示板の数を増やすことも選挙が実施されていることを伝えることに役立つのでは。18歳選挙権によって高校生にも選挙権が広がっている。政治に関する基本的な知識を身につけるなど、若者の政治参加をすすめる施策が必要。

投票所が身近であればそれだけでも投票する人が増えるのでは。投票所を11ヶ所から5ヶ所に減らされ、投票所が遠くなったという声がある。身近に投票所がなくなって行きづらくなったとの声も、今もなお届いている。

高齢者や障がい者の投票方法の一つに、郵便投票があるが、対象範囲が限定的なため、希望しても認められない人が多いのが実態。太子町の選挙管理委員会も投票率を上げるために、努力されていると思うが、住民の要求に答えるよう要望する。



マイナ保険証の運用は直ちに中止するよう国に求めよ 日本共産党 西田 いく子 議員

問 法律でマイナンバーカードの取得は任意とされているが、健康保険証を廃止し、カードに統合することは、国民皆保険制度の下で事実上強制することになる。また、マイナ保険証への別人情報のひも付け問題は、厚労省が2021年11月に把握して以来、7,312件も確認されている。このまま一本化すれば、住民の命・健康は守れない。マイナ保険証の運用はただちに中止するよう国に求めよ。

答 被保険者の健康を守ることを最優先に、国や自治体、事業者が一体となったチェック体制を一刻も早く構築することが必要だと考える。カードと保険証の一体化は、強制されるものではないと認識している。住民の不安を解消するべく、より丁寧な対応に努めたい。

要望 「カードは持ちたくない」「持ちたくても様々な事情で持てない」人のために『資格確認書』を交付すればマイナ保険証を作らなくてもいいことの周知徹底を。

太子の森の運営は「公平」なのか

問 「受益者負担は当たり前」という考えは、自治体には馴染まない。住民は無料で使えることを望んでいる。太子の森を利用しているサークルで、10人なら上限2万円が補助されて、9人では対象外になる「文化・スポーツ団体活動活性化補助金」や太子の森の運営は「公平」と言えるのか。

答 生涯学習センターの使用料は、令和3年3月議会でご議決いただいた。「補助金」は一定の要件を設定することは一般的。当面は現制度で運営を進め、より多くの活動団体に制度を活用してもらう取り組みを進める。

太子町の文化財を守れ

問 田中家の調査研究とは。叡福寺前の山本家も貴重な建物。大切な文化財を守り生かすよう求める。

答 大正時代の建築で、国の登録有形文化財の山本家住宅は、町へ寄付の申し出があり、関係4部局で、対応協議中。（※田中家についてはP1参照）



叡福寺前山本家住宅（庭側から撮影）

全員協議会

6月1日の全員協議会におきまして、陳情・要望書の取り扱いについて審議しました。採決結果をお知らせします。

件名	提出者(団体)	斧田 秀明	建石 良明	西田 いく子	藤井 千代美	森田 忠彦	村井 浩二	辻本 ひろゆき	辻本 馨	中村 直幸	山田 強
国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸	<input type="checkbox"/>	—								
悪質商法をなくし、消費者被害を減らすため、施行後5年後見直し規定に基づく特定商取引法の抜本的な改正を求める意見書採択を求める陳情書	全大阪消費者団体連絡会 代表 米田 覚	<input type="checkbox"/>	—								
高齢者の生活を守るため年金制度のマクロ経済スライドの一時停止を求める意見書（案）	日本共産党 太子町議会議員団	<input type="checkbox"/>	—								
75歳以上保険料引き上げの中止を求める意見書（案）	日本共産党 太子町議会議員団	<input type="checkbox"/>	—								
原子力発電の運転期間の延長、増設の中止を求める意見書（案）	日本共産党 太子町議会議員団	<input type="checkbox"/>	—								
健康保険証を廃止し、マイナンバーカードへ一本化する方針を撤回するよう求める意見書（案）	日本共産党 太子町議会議員団	<input type="checkbox"/>	—								
旧統一協会等による被害の防止・救済を求める意見書（案）	日本共産党 太子町議会議員団	<input type="checkbox"/>	—								

各議員の賛否 ○賛成 □継続審議 — 議長 ※賛否が同数の場合は、議長採決

二上山美化促進協議会



4月19日、葛城市當麻文化会館にて『二上山美化促進協議会』が開催され、令和4年度事業報告・収支決算、令和5年度事業計画（案）・収支報告（案）等について協議されました。

あいさつに立つ田中町長 一番右、山田議長



南河内郡議長会総会



左：河内町議会、大門議長・佐々木副議長
正面：千早赤阪村議会、千福議長・田村副議長
右：太子町議会、山田議長・中村副議長

5月22日、太子町にて『南河内郡議長会総会』が開かれ、役員決定、広域派遣議員の候補者推薦、南河内郡議会議員研修などについて、協議されました。

町村議会議長・副議長研修会



5月23日、東京国際フォーラムにおいて『町村議会議長・副議長研修会』が開催され、山田議長、中村副議長が参加しました。

幼稚園・山田小学校議場見学



5月29日には町立幼稚園（年長）が、6月30日には山田小学校（3年生）が太子町議会、議場見学に訪れました。

次の定例会は、9月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。日程については、ホームページ・広報無線でお知らせします。

本会議をライブ配信中。スマホ・パソコンでご覧ください。

2023年からいつでもご視聴いただける録画配信も行っています。

